

映える加賀野菜 “vegetable Café ～ベジカフェ～” スタイル

団体名 ●vegetable Café –ベジカフェー / 代表者名 ●後藤菜々美 (短期大学部経営実務科2年)

はじめに

ブランド協会設立から20年以上たった現在、加賀野菜は生産農家数の減少による出荷量の減少が課題となっている。この現状から、伝統ある加賀野菜の魅力を再認識すると共に、若い世代を含めた利用拡大に貢献するため、学生自ら加賀野菜について深く学び体験を通じて理解し、その魅力を広く県内外に発信していくことを目標に活動を行う。

今年度の活動内容

加賀野菜15品目のうち、栽培歴史の長い「加賀れんこん」と全国でも珍しい赤皮種の「打木赤皮甘栗かぼちゃ」2品目に着目し、活動を行った。

金沢農業センターからの情報協力を得ると共に、活動の後半にはJA 金沢市加賀れんこん部会の協力の元、さまざまな活動にも参加した。参加した活動や企画したイベントは、下記の通りである。

日時	内容
7月－10月	加賀野菜を用いた商品開発
9月16日	JA 金沢市れんこん部会との打ち合わせ及び集荷場見学
10月30日	河北瀧れんこん畑にて収穫体験参加
11月3日	イオンモールかほくにて加賀れんこんの販促活動および商品の販売実践
11月6日－7日	流星祭屋台にて製作した商品(小物・たい焼き・アイス)の販売
11月12日	MatchingHUB Hokuriku2021 パネル出展、ポスターセッション、プレゼンテーション、表彰式参加
11月21日、27日	JA ほがらか村本店(21日)、野田店(27日)にて加賀れんこんの販促活動
12月10日－11日	東京銀座のアンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」にて加賀れんこんイベントに参加
1月16日	千坂公民館にてれんこん食文化講座参加

成果、結果の考察

商品開発では、女子短大生目線で小物(マスクチェーン、ポーチなど)とスイーツ(アイスクリーム、たい焼き)を提案し、学内外問わず非常に多くの反響

をいただいた。また、提案したスイーツのアイデアを『MatchingHUB Hokuriku』に応募したところ、入選・オーディエンス賞を受賞した。会場では多くの学生や企業との交流も生まれ、非常に見識が広がる活動だった。



販促活動では、場所による客層の変化と、それに応じたアピール方法の工夫が必要となることを実感した。より多くの人に魅力を伝え、購入に繋げてもらうためにはどうすべきか、具体的な施策を考えて販促活動を行うべきだと痛感した。



今後の課題、展望

加賀野菜を応援したい気持ちと、実際に流通している加賀野菜の量に大きなギャップがあることを学び、加賀野菜が置かれている現状を更に深く知る必要があると考えた。また、商品化における経費や販売場所の獲得など、多くの課題が見つかった。今後は、PR活動の継続をしながら、多くの世代に好まれるグッズ開発、料理やスイーツの製作に加えスーパーなどで弁当の開発も行っていきたいと考える。

